

Ⅱ 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、
観光産業を振興する～

II 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着 (10) ホテル誘致

R5 予算案 157,814千円
債務負担行為 500,000千円

ここまで良くなりました

滞在型観光をより一層促進するため、令和7年度までに宿泊客室数を12,000室にする目標を設定しました。目標達成に向け、令和3年度に「奈良県宿泊施設立地促進事業補助金」を創設し、2件の事業計画を認定しました。



○近年オープンしたホテル例



もっと良くするために

観光地競争に打ち勝つには、滞在型観光を促進するため**宿泊客室数**をもっと増やすこと、多様なニーズに応える**ホテルのパラエティ**を持つこと、観光地奈良のブランド力を上げる**上質なホテル**も用意することが必要です。

○商談会の実施、宿泊施設立地検討企業に対する調査の実施、宿泊施設立地コンシェルジュの設置等による効果的な誘致活動を展開

- 宿泊施設の新たな立地等に対する支援
- ・宿泊施設立地促進事業補助金
 - ・創業支援資金(宿泊施設認定枠)
 - ・既存事業者による宿泊施設開業支援資金
 - ・宿泊施設増改築・設備整備支援資金
 - ・事業税・不動産取得税の軽減

○宿泊施設の整備を支援



令和5年度予算案 158百万円 [債務負担行為 500百万円]

1. 宿泊施設の立地促進に向けた支援 (50,000千円、R6～10債務負担行為 500,000千円)

- ①**宿泊施設の新設等に対する補助**
- ・客室数30室以上または収容人員100人以上
 - ・投資額5億円以上(南部・東部地域は3億円以上)
 - ・補助率：投資額の5%(上限：2億円または1億円)



東横INN天理駅前ビル(仮称)
(令和5年10月開業予定)
(イメージ)

②事業税・不動産取得税の軽減

3. 国の「総合特区支援利子補給金制度」への 上乘せ支援 (71,892千円)

④奈良公園観光地域活性化総合特区内における 宿泊施設の新設等に対する**利子補給補助**



旧奈良監獄ホテルの整備支援(令和7年度中間開業予定)(イメージ)

2. 融資制度を利用する宿泊施設事業者への支援 (17,715千円)

③「奈良の宿泊施設育成支援資金」(制度融資)を 利用した宿泊施設事業者に対する**利子補給補助**



翠門亭-SUIMONTEI-(令和4年4月開業)

4. **新** 宿泊施設誘致営業力を強化 (18,207千円)

⑤宿泊事業者等を対象に、**東京で商談会を開催** **宿泊施設立地コンシェルジュの設置**



企業立地セミナーin東京での商談会

<問い合わせ先>

産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課
加護野課長補佐(内線3585)

II 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着 (11) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

R5 予算案 188,673千円

ここまで良くなりました

「第7回UNWTOガストロミーツーリズム世界フォーラム」を開催しました。ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、大規模国際会議などの誘致活動を継続的に行っていきます。

コンベンションセンターを拠点とした誘客促進をより一層強化するため、年間を通じて、天平広場を中心に賑わいを生み出すイベントを開催しました。

○大規模会議の開催

○誘客を図るイベントを開催



ガストロミーツーリズム世界フォーラム(日本初)



光と遊びの天平広場



全国知事会議(奈良県初)

もっと良くするために

国内外のMICE商談会に積極的に出展し、奈良らしさを感じられる会場・エクスカーション等を提案します。また、コンベンション開催地としての魅力の向上と情報発信を強化します。

賑わいが根付くよう、コンベンション施設運営の関係事業者や県内市町村等と連携して、賑わいイベントを継続して開催・誘致し、コンベンションセンターを奈良の魅力を発信する拠点としていきます。

○大規模国際会議などの開催誘致を推進

○周遊観光の拠点となる賑わいを創出



MICE商談会・見本市への出展



継続的にイベントを開催

令和5年度予算案 189百万円

1. コンベンション施設の運営 (151,556千円)

- ①SPCによる**施設運営**
- ②国際会議や医学学会等**MICEの誘致**など



医学学会の様子

2. 賑わいの創出、MICEの誘致推進 (37,117千円)

(1) 賑わいの創出 (17,000千円)

- ③**季節感を演出した各種イベント**
 - ・天平広場に樹脂製スケートリンクを設置
 - ・煌びやかなイルミネーション など



天平広場スケートリンク



光と遊びの天平広場・冬

(2) 「MICE誘致力」の向上 (4,213千円)

- ④**ビジターズビューローと連携した大学への誘致活動、学会の誘致**
- ⑤奈良を代表する施設、企業等と連携した**ユニークベニュー**(寺社等での会議・レセプション)の開発
- ⑥県内MICE事業者に向けた**セミナー、意見交換会**



誘致活動



ユニークベニュー会場
(奈良春日野国際フォーラム庭園)

(3) 大規模MICEの誘致推進 (4,980千円)

- ⑦**国内外のMICE商談会、見本市への出展によるPR**
- ⑧**大規模国際会議の誘致**



UNWTOガストロミーツーリズム世界フォーラム
(奈良県コンベンションセンター)



(4) コンベンション開催誘致の強化 (10,924千円)

- ⑨**コンベンション開催への助成**

〈問い合わせ先〉

観光局 MICE推進室 大久保室長補佐(内線2153)

II 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (12) 奈良県観光総合戦略の実行

R5 予算案 47,230千円
R4・2月補正予算案 80,000千円

ここまで良くなりました

令和3年7月に策定した「奈良県観光総合戦略」を着実に推進し、ウィズコロナ・アフターコロナやインバウンド回復を見据えた観光振興に取り組んでいます。

○地域との対話による事業者・行政の連携強化や観光人材の育成など、観光振興の土台づくりを推進



○周遊拠点として泊まりたい奈良の実現に向け、観光需要を喚起する宿泊キャンペーンの実施

○令和4年度に県観光総合戦略推進補助金を創設し、市町村等の取組に対し支援

<目指す姿>

総合：観光振興の土台づくり

「ここにしかない魅力であふれる観光地・奈良」
「いつ来ても快適な観光地・奈良」
「選ばれる観光地・奈良」

もっと良くするために

奈良県観光総合戦略（～2025年度）を着実に推進します。

○戦略に基づき、事業者、県、市町村等の各観光振興実施主体の積極的かつ主体的な取組や、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の観光、持続可能な観光の観点を重視した取組を推進

観光DXを迅速・強力に推進します。

○来訪者の快適性向上を図るため、観光分野におけるデジタルデータやAIの活用を推進



対話の場づくりや人材育成支援等を通じ、**県内地域との連携・協力を強化**します。

○市町村、観光関連事業者等との地域対話の場づくり
○UNWTOと連携し、持続可能な観光に取り組む県内地域の支援
○地域の核となる人材の育成、地域観光の課題解決に向けた研修会の開催



観光総合戦略の推進に資する取組を支援します。

○市町村等による観光資源の魅力の磨き上げや受入環境整備等の取組を支援

- ・イベントや体験メニューの企画・造成
- ・魅力的な奈良の産品・食品の開発
- ・観光施設等の整備・改良
- ・ワーケーション等環境の整備
- ・多言語観光案内標識の整備
- ・プロモーション、キャンペーンの取組

令和5年度予算案 47百万円 令和4年度2月補正予算案 80百万円

1. 奈良県の観光戦略

「奈良県観光総合戦略」の目指す姿

- ・「ここにしかない魅力であふれる観光地・奈良」
- ・「いつ来ても快適な観光地・奈良」
- ・「選ばれる観光地・奈良」



奈良県への誘客について
「万博には奈良に泊まって行く」
を基本にした観光施策を展開

2. 観光振興の土台づくり（17,230千円、R4・2月補正 80,000千円）

① 市町村や観光関連事業者等と連携した、エリアごとの**地域資源の磨き上げ**（1,730千円）



地域の事業者や住民との議論



外部有識者による地域の視察



山の辺の道エリア
（橿山古墳）



山の辺の道フィールドワーク



「持続可能な観光地づくり」
説明会

③ 地域の観光を支える**人材育成**（9,000千円）



スキルアップ研修



人材育成プログラム

④ 県内観光のDX推進（R4・2月補正 80,000千円）

来訪者の快適性向上を図るため、観光分野における**デジタルデータやAIの活用**を推進

3. 観光総合戦略に資する取組の実現（30,000千円）

⑤ 奈良県観光総合戦略推進補助金による支援（30,000千円）

市町村等による総合戦略の推進に資する**観光資源の魅力の磨き上げ、受入環境整備等の取組**を支援



イベントや体験メニューの
企画・造成



観光施設等の整備・改良
（トイレの洋式化）



多言語観光案内標識の整備

<問い合わせ先>

- 観光局 ならの観光力向上課
①～④片山課長補佐（内線2588）
⑤山ノ内課長補佐（内線2608）

II 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり

(13) 奈良公園中枢地プロジェクト

(文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備)

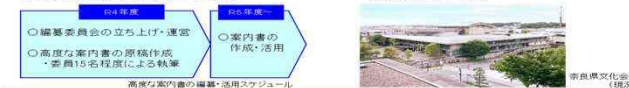
R5 予算案 1,281,249千円
債務負担行為 15,683,000千円

ここまで良くなりました

奈良公園内における文化の展示力向上と環境整備のためのプロジェクトについて、奈良県文化振興戦略懇話会の意見を参考に、都庁横断的に取り組んでいます。

奈良公園内における文化の展示力向上

- 「(仮称)奈良公園に関する高度な案内書」の編纂 編集委員会の立ち上げ(R4年10月)
- 奈良県文化会館のリニューアル 実施設計(R4年度)



奈良公園内の環境整備

- 奈良公園の水環境の改善 猿沢池への導水実証実験の実施
- 奈良公園バスターミナル(BT)と東大寺を結ぶ 新たな観光ルート整備



- 奈良公園BTの運営改善のため、平城宮跡前駐車を駐機場として有効活用
- 奈良公園周辺地区のホテル整備



もっと良くするために

奈良公園内における文化の展示力向上と環境整備に向けた取組を推進し、奈良公園の更なる魅力向上を図ります。

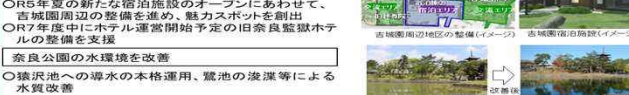
奈良公園内における文化の展示力向上

- ハード・ソフトの両面から、奈良公園内における文化の展示力向上に向けた取組を推進
- 「(仮称)奈良公園に関する高度な案内書」の編纂と活用
- 文化会館・美術館の周辺環境整備のための構想策定



奈良公園内の環境整備

- R5年度の新たな宿泊施設のオープンにあわせて、吉城園周辺の整備を進め、魅力スポットを創出
- R7年度中に小ホール運営開始予定の旧奈良監獄ホテルの整備を支援



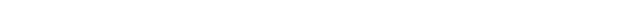
奈良公園の水環境を改善

- 猿沢池への導水の本格運用、鴛池の浚渫等による水質改善



奈良公園のアメニティ向上

- 奈良のシカの保護・管理、植栽整備、春日山原始林の保全
- 鹿苑整備
- 奈良公園BTでの展示等により季節に応じた魅力を発信 イベント実施によるにぎわいの創出
- 四季を通じて楽しめるよう、魅力的なイベントにより、奈良公園BTをはじめ奈良公園エリアのにぎわいを創出



1. 奈良公園の魅力向上 (661,316千円)

(1) 風情に調和した宿泊施設の整備促進 (224,551千円)

- ・吉城園周辺地区整備
 - ①園地等周辺整備(吉城園宿泊施設 R5夏オープン)
- ・旧奈良監獄ホテルの整備支援
 - ②耐震改修への支援
 - ③奈良市と連携しゲートウェイとなる沿道整備
 - ④国の「総合特区支援利子補給金」への上乗せ支援



吉城園宿泊施設の整備イメージ



旧奈良監獄ホテルのイメージ (法務省より提供)

(2) アメニティ向上 (305,165千円)

- ⑤奈良のシカ保護・管理、植栽整備、春日山原始林の保全
- ⑥奈良公園BTでの情報発信、賑わい創出イベント実施
- ⑦鹿苑整備



奈良公園BTにおける音楽イベント

(3) 水環境の改善 (131,600千円)

- ⑧猿沢池への導水の本格運用
- ⑨鴛池の浚渫等による水質改善



猿沢池 導水実証実験による変化

2. 文化の展示力向上 (37,186千円、R6~8債務負担行為 15,683,000千円)

(1) 文化会館の整備 (12,786千円、R6~8債務負担行為15,683,000千円)

- ⑩耐震改築・小ホール新築等 → リニューアルオープン:R8



奈良県文化会館の整備イメージ



(2) 奈良公園内における文化の展示力向上 (24,400千円)

- ⑪「(仮称)奈良公園に関する高度な案内書」の編纂と活用
- ⑫ 新文化会館・美術館の周辺環境整備のための構想策定
- ⑬ 新県立美術館の整備に向けた登大路瓦窯跡の活用検討

3. 奈良公園周辺の交通改善 (582,747千円)

(1) 奈良公園バスターミナル等の運営 (355,447千円)

- ⑭奈良公園BT、県営駐車場の運営

(2) 奈良中心市街地の渋滞対策 (227,300千円)

- ⑮ぐるっとバスの運行、パークアンドバスライド等の実施



奈良めぐり平城宮跡前駐車場



ぐるっとバス

〈問い合わせ先〉

- ①③⑦⑧⑨ 地域デザイン推進局 奈良公園室 水野室長補佐(内線4334)
- ②⑬ 文化・教育・くらし創造部 文化財保存課 守屋課長補佐(内線5332)
- ④ 産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課 加護野課長補佐(内線3585)
- ⑤⑥⑭ 地域デザイン推進局 奈良公園室 池田室長補佐(内線4306)
- ⑩⑪⑫ 文化・教育・くらし創造部 文化振興課 元根課長補佐(内線2152)
- ⑮ 県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)

II 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (14) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備

R5 予算案 132,000千円

ここまで良くなりました

大宮通りの景観改善に努めてきた結果、花壇や街路樹(樹形)の整備が進み、さらにイルミネーションの演出により、おもてなし空間の創出につながりました。これらの情報や県の取組などを周知いただくために、大宮通りジャーナルなどにより広く発信しました。

○大宮通りで地域の皆様や沿道企業の方が花壇の植付やゴミ掃除のボランティア活動を実施



観光地奈良公園の玄関口にふさわしい近鉄奈良駅にするため、交通事業者や地元商店街、自治会等と勉強会を実施するなど景観環境整備に向けた取組を行いました。

- 透明の大屋根の整備
- ぐるっとバス停の設置
- 県ポスター掲示の入れ替え
- 景観・環境整備について勉強会を実施



もっと良くするために

大宮通りの景観・環境整備を引き続き進めます。

○冬の来訪者へのおもてなし空間を創出するために、街路樹イルミネーションや西方寺の白壁ライトアップ等を継続して実施

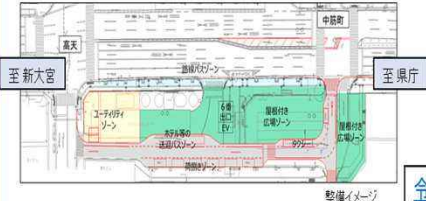


○大宮通りの景観・環境整備を推進するため、沿道地域の方が主体となる“大宮通り”を目指し花植えや美化活動を推進



近鉄奈良駅前の景観・環境整備に向けて地元商店街・地元自治会の人々と協力して、引き続き検討を進めます。

- 駅前にふさわしい空間整備のための施設の基本計画をとりまとめ
- 交通事業者や地元商店街、自治会等との勉強会を開催



有識者を講師に招き勉強会を開催
令和5年度予算案 132百万円

1. 奈良の玄関口である大宮通りの景観整備 (63,000千円)

- ① 街路樹、花壇等にイルミネーションを設置
- ② 地域の方々と協働して花壇等を整備

① イルミネーションの充実



西方寺の白壁のライトアップ

街路樹イルミネーション

鹿のイルミネーション

② 地域と協働した花壇整備

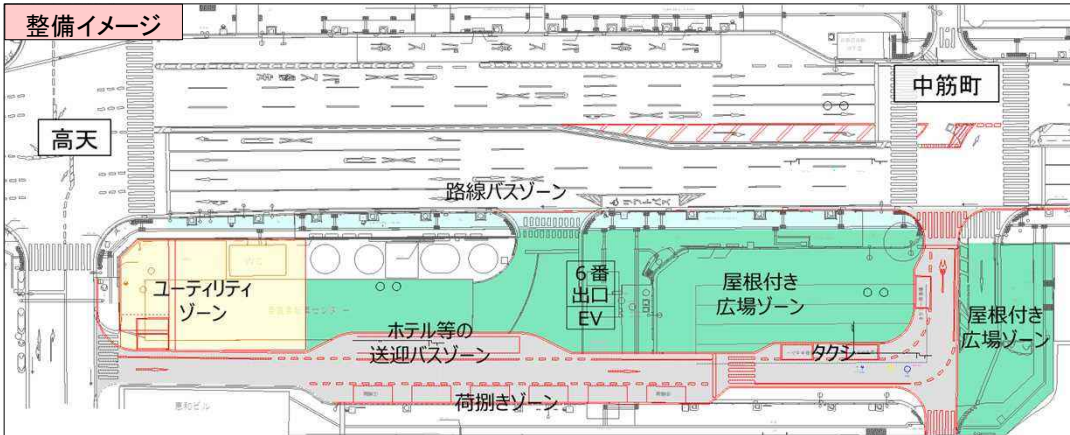


協働作業の様子

整備状況

2. 近鉄奈良駅周辺の環境整備 (69,000千円)

- ③ 駅前にふさわしい空間整備のための施設等基本計画をとりまとめ
- ④ 交通事業者や地元商店街、自治会等とのまちづくり勉強会を開催



※整備イメージは、関係機関等との協議を踏まえて、変更する可能性があります。



有識者を講師に招き勉強会を開催

〈問い合わせ先〉

- ①② 県土マネジメント部 道路保全課 辻井主幹(内線4152)
- ③④ 地域デザイン推進局 奈良公園室 水野室長補佐(内線4334)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (15) 平城宮跡歴史公園の整備

R5 予算案 525,969千円
債務負担行為 468,670千円

ここまで良くなりました

朱雀門ひろばに続いて、第一次大極殿院大極門(南門)が令和4年3月に完成しました。朱雀大路東側及び平城宮跡南側においては朱雀門ひろばと一体感のある公園整備を進めています。

(平城宮跡歴史公園の整備の状況)



平城宮跡南側地区 大極門(南門) 令和4年3月完成

朱雀大路東側「歴史体験学習館」

OR2年12月に整備計画を策定し、体験・交流内容等のコンテンツや整備施設に関する基本計画を検討

平城宮跡南側

OR2年度に新規事業化及びR2年12月に基本計画を策定し、R4年度末の整備計画策定に向け、整備方針や導入機能について検討



朱雀門ひろば 第一次大極殿院大極門(南門)

もっと良くするために

第一次大極殿院の復原は、奈良時代に今を感じる空間の創出を目指します。

南側は令和7年度の完成を目指します。

○「南門」に続き「東棟」の整備促進を国に要望



東側の「歴史体験学習館」は令和8年度の完成を目指します。

○迫力ある映像や新技術を活用した奈良時代の歴史をリアルに体験できる「歴史体験学習館」を整備

○平城京のスケールを実感し往時の姿をイメージできる歴史空間や人々が憩いつづける空間を創出するため、オープンスペースを確保し、屋根付き広場、展望デッキ、便益施設、遊具等の整備を推進



平城宮跡南側の整備イメージ

一層のにぎわいと誘客促進に向けて、魅力ある催しを実施します。

○季節ごとの魅力あるイベント(天平祭春・夏・秋)に加え、年間を通した賑わいを創出



天平祭・夏

1. 朱雀大路東側・平城宮跡南側の整備 (390,969千円、R6債務負担行為 468,670千円)

(1) 朱雀大路東側の整備 (265,132千円)

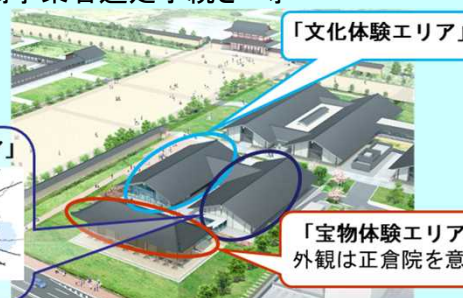
※令和8年度の完成を目指す

- ① 歴史体験学習館整備に向けた文化財発掘調査等
 - ・文化財発掘調査、ボーリング調査
 - ・遺産影響評価(HIA)の実施
 - ・施設整備に係る民間事業者選定手続き等

② 事業用地の取得



「歴史体験エリア」
コンテンツイメージ



「文化体験エリア」

「宝物体験エリア」
外観は正倉院を意匠化



朱雀大路東側

平城宮跡南側

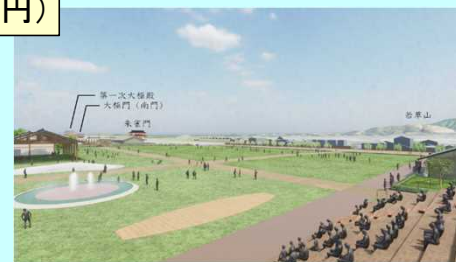
(2) 平城宮跡南側の整備

(125,837千円、R6債務負担行為 468,670千円)

※令和7年度の完成を目指す

③ 施設設計等

- ・南側エリアの公園施設等設計
- ・文化財発掘調査、ボーリング調査
- ・便益施設(カフェ等)への民間活力の導入に向けた検討等



展望デッキからの眺望のイメージ



計画平面図案

2. 平城宮跡におけるにぎわい創出 (135,000千円)

④ 平城宮跡への誘客促進イベント

- ・平城京天平祭(春) 天平行列、こども行列 ほか
- ・天平たなばた祭り(夏) 光と灯りの演出、七夕行列 ほか
- ・みつきうまし祭り(秋) 古代行事の再現、花の展示 ほか
- ・**新**古代行事の再現(秋)、**遣唐使船前広場のイルミネーションの設置(冬)**



天平たなばた祭り(夏)



みつきうまし祭り(秋)

〈問い合わせ先〉

地域デザイン推進局 平城宮跡事業推進室 浜本主幹(内線2691)

令和5年度予算案 526百万円 [債務負担行為 469百万円]

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (16) 中町「道の駅」の整備

R5 予算案 2,299,860千円

ここまで良くなりました

令和4年10月に管理運営を行う指定管理者を決定しました。造成工事が完了し、建築工事を進めています。



もっと良くするために

令和5年度末のオープンに向けて整備を進めます。

- 建築工事を進めるとともに、駐車場や芝生広場等の工事を推進
- 地域や指定管理者と連携して、県産食材の活用や地域の賑わいづくりのイベント、観光情報の発信等について具体化
- 空港バスや路線バス等のバスターミナルへの乗り入れ実現に向け、交通事業者と協議
- 災害時に備え、非常用発電機、貯水タンク、防災倉庫等を整備



令和5年度予算案 2,300百万円

1. 中町「道の駅」の整備（2,284,459千円）

駐車場等の外構工事、レストランやカフェ等の新築 → 令和5年度末 オープン予定

2. 中町「道の駅」の運営・維持（15,401千円）

指定管理者への管理・運営の委託 等



【完成イメージ】



駐車場から西側の眺望を望む(イメージ)



県産木材を活用した内装(イメージ)

〈問い合わせ先〉

県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)

II 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (17) 自転車の周遊環境整備と安全利用

R5 予算案 258,750千円

ここまで良くなりました

令和3年4月に京奈和自転車道(京都嵐山~奈良~和歌山港 総延長約180km)がつながり、利用者が2割増加しました。



世界遺産周遊サイクルルートの工事に着手しました。

R4年度から、路面標示等の工事を実施

自転車の安全で適正な利用促進等を推進しました。

- 駅頭啓発でのチラシ配布、SNSによる呼びかけ、YouTube配信等様々な啓発活動を実施
- 「自転車の安全利用促進フォーラム2021」を開催、自転車の安全利用等をテーマとしたパネルディスカッション等を実施



もっと良くするために

自転車利用ネットワークの構築を図ります。

- 世界遺産周遊サイクルルートのうち、古都奈良エリア、法隆寺エリア、飛鳥藤原エリアで案内誘導サイン等の工事を推進
- HPやSNSを活用し、サイクルルートの魅力を発信



引き続き、「奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」のもと自転車を安心して利用できる奈良県を目指します。

- 保険加入義務やヘルメット着用の必要性等についてイベント実施等により広報啓発を行うとともに、交通安全教育を実施

令和5年度予算案 259百万円

1. 自転車利用ネットワークの構築等 (256,200千円)

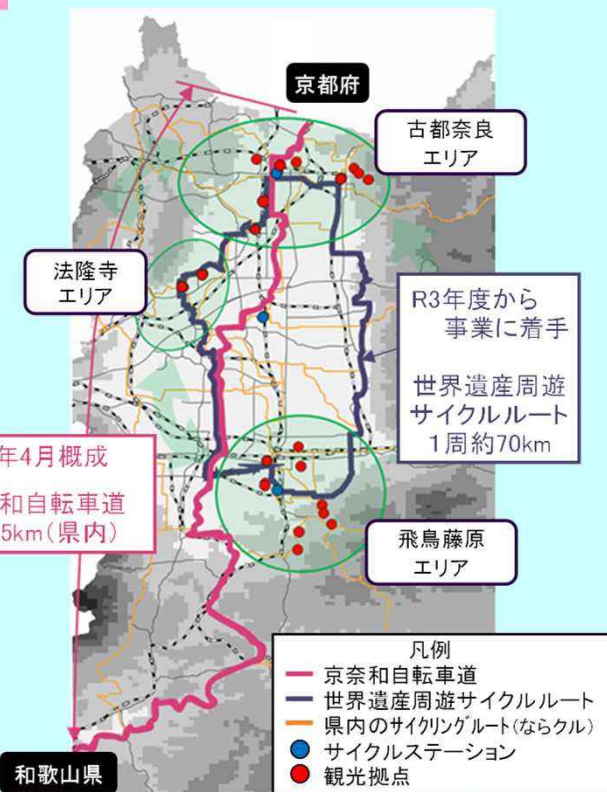
(1) 「世界遺産周遊サイクルルート」等の整備

① 案内誘導サイン・路面標示等の工事

(2) 情報発信の充実、官民連携の推進

② HPやSNSを活用し、サイクルルートの魅力を発信

③ 休憩所や駐車場、宿泊施設等との官民連携の推進



2. 自転車の安全で適正な利用の促進 (2,550千円)

④ 自転車乗用時のヘルメット着用努力義務等の啓発・SNSによる情報発信

⑤ (新) 未就学児等に対する交通安全教室



〈問い合わせ先〉

- ①~③ 県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)
- ④⑤ 知事公室 安全・安心まちづくり推進課 山地課長補佐(内線2128)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信

(18) 食の振興

R5 予算案 82,811千円

ここまで良くなりました

食の振興の高度化に向けて取り組んでいます。

各地で食の振興に取り組んでいます。

○ガストロノミーツーリズムの推進

UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムが奈良県で国内初開催

○ミシュランガイド奈良2022特別版の活用



県産加工品について、奈良まほろば館でテストマーケティングを行っています。

○アンテナショップでの県産食材・農産加工品の販売と情報発信

○奈良県初のワイナリー設置を支援
県産ワインが完成し販売を開始

○コンベンションセンターでの食イベントによる賑わいづくり

○奈良フードフェスティバルの開催

○NAFIC附属セミナーハウス、なら歴史芸術文化村で食に関するセミナーを開催



花と楽しむ奈良のおいしい食フェスタ 「はじまりの奈良の食文化」セミナー



奈良まほろば館で農産商品を販売



3種類の県産ワイン

もっと良くするために

奈良の食・食材のブランド力をさらに強化します。

奈良の食を楽しむ機会の更なる拡大を進めます。

○奈良まほろば館等でのプロモーションや県産食材を味わえる飲食店の紹介



○奈良県プレミアムセレクト品のアンテナショップ等でのPR

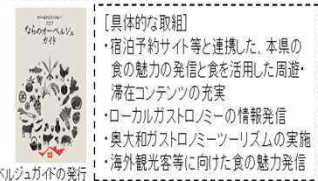


東京老舗果物専門店でのPR

○NAFIC附属セミナーハウス、なら歴史芸術文化村等での食を楽しむ機会の創出



○奈良の食情報を発信



オーバーリッツガイドの発行

令和5年度予算案 83百万円

1. 奈良の食のブランド力の強化 (5,080千円)

(1)奈良県農畜水産物ブランド認証 (1,380千円)

- ① 奈良県プレミアムセレクト(イチゴ、梨)を、東京の老舗果物専門店等でPR
- ② 県アンテナショップでのプレミアム古都華を使ったスイーツの販売、SNSによる情報発信

(2)奈良まほろば館等での県産食材のブランド力発信 (3,700千円)

- ③ ショップやレストラン「TOKI」を活用した食のブランド力発信イベント等
- ④ 協定直売所ブランド「地の味土の香」での県産食材の情報発信強化



県アンテナショップで食のPR

2. 奈良の食を楽しむ機会の拡大 (77,731千円)

(1)奈良のおいしい食の魅力創造・発信 (17,000千円)

- ⑤ **新** ローカルガストロノミーフォーラム
- ⑥ **新** シェフやインフルエンサー等を招いた県内飲食店等を巡るツアー
- ⑦ 県産食材の最新情報を入手できるインターネット・サイトの運用
- ⑧ 県産食材を活用する奈良フードフェスティバルの開催支援



「食」イベントの開催

(3)NAFICとBCCとの連携(7,531千円)

- ⑨ 世界的に著名なスペインの料理専門大学(BCC)講師の特別講義



BCCから講師を招へい

(4)ガストロノミーツーリズムの推進(32,000千円)

- ⑩ 宿泊・レストラン予約サイトでの情報発信
- ⑪ ガストロノミーをテーマに奥大和地域のポテンシャルを活かしたイベントの実施



オーバーリッツでのファムトリップ

(5)食と農の魅力発信・地域活動の支援 (21,200千円)

- ⑫ NAFIC附属セミナーハウスやなら歴史芸術文化村でのセミナー
- ⑬ **新** 奈良の食文化の調査とHPIによる情報発信
- ⑭ **新** 海外観光客等に向けた食の魅力発信



食と農の魅力発信(セミナーや料理教室)

<問い合わせ先>

- ①②食と農の振興部 農業水産振興課 岡田課長補佐(内線3841)
- ③⑨食と農の振興部 豊かな食と農の振興課 福永課長補佐(内線3818)、④~⑧、⑫~⑭下浦課長補佐(内線3811)
- ⑩観光局 観光プロモーション課 辻課長補佐(内線2581)、⑪知事公室 南部東部振興課 阪口主幹(0744-48-3015)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信 (19) 海外・東京プロモーションの展開

R5 予算案 271,975千円
R4・2月補正予算案 80,000千円

ここまで良くなってきました

海外に対し、今後のインバウンド再開を見据え、SNSや海外旅行博への出展等により、本県の魅力を継続して積極的に発信しています。

○海外の個人観光客やメディア等に対する情報発信



首都圏における県の魅力の認知度及びブランド力の向上を図るため、「奈良まほろば館」を令和3年8月に移転リニューアルし、観光・食・特産品等の情報発信や、新商品の発掘等に取り組んでいます。

○首都圏等からの誘客を図るため、市町村や交通事業者等と連携したプロモーション(「壬申の乱1350年」をテーマとした周遊キャンペーン等)を展開

もっと良くするために

海外に対して、インバウンドの本格的な再開と2025年大阪・関西万博の開催や2037年予定のリニア開通を見据え、積極的に海外プロモーションを展開するとともに、JNTO等政府機関等と連携し、情報発信を強力に推進します。

○海外での積極的な情報発信



国内に対して、市町村・交通事業者等と連携して歴史的催事の活用やガストロミーツーリズムの積極的な展開により、万博以降も見据えた誘客促進に取り組めます。

○ガストロミー等を活用した観光誘客

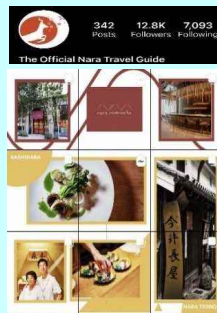


1. 海外向けプロモーションの強化によるインバウンド誘客の推進 (50,588千円、R4・2月補正 80,000千円)

- ① 欧米豪市場への奈良の魅力発信
- ② インバウンド観光客向けSNSの活用・HP整備
- ③ **新** インバウンドの本格的再開や2025年大阪・関西万博に向け、「万博には奈良に泊まって行く」を基本としたプロモーションを展開



海外メディア現地視察



SNSの活用



海外現地プロモーション

- ④ **新** 歴史文化や社寺等の本県の強みを活かし、外国人観光客向けに新規性の高い、特別な体験型コンテンツ造成・イベント開催



社寺と連携した特別公開



夜間ライトアップイベント



日本文化体験

2. 「奈良まほろば館」での魅力発信 (18,387千円)

- ⑤ 奈良まほろば館でのイベントや講座等



食の魅力体験できるイベントの開催



県産品のPR・販売



観光情報を発信する誘客イベントの開催

3. 奈良の魅力の一層の発信と周遊・滞在型観光の推進 (183,000千円)

- ⑥ JR等の民間交通事業者と連携し首都圏や県内への広報・宣伝



歴史的な「事跡」や「人物」を活用した周遊プロモーション



若年層や家族連れ等へのプロモーション



地域の食・食文化を核としたプロモーション



鉄道事業者との連携による車内広告

4. 鉄道事業者と連携した奥大和の魅力発信 (20,000千円)

- ⑦ 奥大和地域への旅行商品の造成
- ⑧ 駅構内でのイベント開催
- ⑨ ポスターの駅掲出



旅行商品の造成

〈問い合わせ先〉

- ①～⑥ 観光局 観光プロモーション課 辻課長補佐(内線2581)
- ⑦～⑨ 知事公室 奥大和移住・交流推進室 桐山室長補佐(0744-48-3016)